

第 1 回 意見交換会 要旨

開催日時	1 1 月 7 日 (水) 1 9 時 1 5 分 ~ 2 1 時 2 0 分		
市町村名	波 田 町	グループ名	
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ この会で道路に賛成した場合、県は建設するのか ・ 県は必要という前提で話を進めている。そのために調査等行い、その一環でこの意見交換会も開催している ・ 今回私の認識では話をゼロに戻してから始めるものと思う。 ・ 道路は目的ではなく手段にすぎない。なのにこの道路の目的は見えない。 ・ 大町以北は道路が必要と思うがそれより南はすでに道路がある。 ・ 国営あずみの公園のためにやっているといえればいいのに ・ 国営あずみの公園は直接的には関係ないが、間接的には影響がでてる ・ 波田を起点として東西、南北に道路ができ、将来的には交通の要衝になるかもしれない。それをふまえ、波田をどうしたいという議論がなかった。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 9 8 4 年当初は豊科まで。いつ豊科から波田にのびたのかわからない。そこの経緯を知りたい。 ・ 大町 系魚川道路は必要と思う。だが、すでにある道路を強化してほしい。 ・ なにも高規格道路でつくらなくてもよい。 ・ 代替路線のある区間は必要じゃない。現時点で波田まで道路を延ばす必要はない。 ・ なぜ皆この道路に反対しているかわからなかった。 ・ 曲がっている道がまっすぐになればいいなと思った。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 山麓線をいくと明け方霧が多く危険なところがあるというのに新しい道ばかり目がいつている。今ある道を整備してほしい。 ・ 自然を破壊しないとこれ以上道はできない。経済より自然をとるべきではないか。 ・ 所長がゼロベースで話してよいといったのに、意見交換会は、といった点が気になる。意見交換会は開くが県の姿勢は変わらないというのか ・ 波田が起点ということがわからない。 ・ 道ができると本当に経済効果があるのか？ 産業振興に道路という時代は終わった。 			

この要旨は、意見交換での意見等を記入していただき、意見交換会開催後 1 週間以内に、市町村役場もしくは建設事務所に提出をお願いします。

- ・ 道があれば廃れることもある。効果に冷静な分析がほしい。
- ・ 地域の高規格道路として東側にはオリンピック道路西側には山麓線がありここをラダー構造で結ぼうとしている。・ 通行料金はなく無料の道路です
- ・ 基本的に自然を守ってほしい。
- ・ まとまらなければ道路は造らないといていたのに一部着工した。知事が「誰が着工命令を出したのか」といったが未だにその返事がない。
- ・ 糸魚川の人に聞いてみるとあった方がよいという程度。
- ・ 糸魚川道路がくると自分の使っている道路がよくなるかもとは思ってはいる。
- ・ 道ができることで地域振興ができると思う。よくわからない。
- ・ 波田をどういう町にしていこうかという中で道の必要性について考えたい。
- ・ 中部縦貫のインターができれば南北の道路は必要だと思っていた。中部縦貫はどうなっているのだろう。
- ・ 松電の交差部等一般道路の改良の方を先にやってほしい。
- ・ 今度は県の方で松本平の道路計画を示してほしい。
- ・ 経済効果の点ではいろいろきてもパイの取り合いになるだけ。
- ・ 周りの町村では店舗がにぎやかではあるが、だめになったらすぐに撤退できるようにしている。だめになったら地元の店をむちゃくちゃにして、はいさようならということになるのではないかな？
- ・ 町のマスタープランの策定委員になっていたが、議論の半ばで道路位置を急に決められた。
- ・ ここには反対の人が多くきて賛成の人がこない。
- ・ 波田のまちづくりについて議論を深めたい。まちの広報が弱い。もっと人を集めてほしい。
- ・ 議論するには資料がなさすぎる。パンフレットだけでは内容が全くわからない。
- ・ 道をつ造るといのは住民の声でつくるべき。代議士がおれががつくったといって喜ぶ時代じゃない。
- ・ このような意見交換会はよいこと。政治手法が変わってきた。
- ・ 波田は遠くへ行くには困らない。もう道はできてるから。
- ・ あればよいなと思うのは大町から北。必要な人がいれば必要だと思う。
- ・ 車は通らないのに莫大な金をつかって道ができている。国の金だからといってつくるのが長野のやり方。
- ・ 今までのやり方は住民を無視していた。反省している。多く意見が出てきてほしい。
- ・ 波田はこれからどうしたいのかということから始めれば意見が出てくる。
- ・ ビジョン無く道ができる。
- ・ 農地が宅地になり、その隣に工場ができ、また住宅が続く。波田町の用途分けは節操がない。
- ・ 車も減るだろうし、人も減る。道路を考えると30～50年後を考えてほしい。
- ・ 道路も公共交通機関の一つ。今は道路は道路を造るところでやっている。交通を考えるとこで考えてほしい。
- ・ 建設だけではなく交通をコーディネートすることがこれから必要になってくる。
- ・ この狭い地域でラダー構造の道路はいらない。
- ・ 北の大町 - 小谷間は生活を保障できる道は必要
- ・ 東信との連絡も考えてほしい、経済効果が上がるので。